

平成26年度版

病院年報

第39巻



越谷市立病院

— smile, safety, satisfaction —

平成26年度病院年報の発刊にあたって

院長 丸 木 親

27年度から病院長を拝命致しました丸木です。入院医療の機能分化促進を厚生労働省が現在推し進めています。7：1入院基本料の届け出病院が134病院も減少する一方、地域包括ケア病棟の届け出病院は895病院の増加が見込まれています。地域医療計画の見直しは各地域ごとに行われていますが、当地区においても地域包括ケアという概念ばかりが先走っていて、肝心の今後の地域の医療需要、医療提供体制についての分析はまだ不十分と言わざるを得ません。東京、神奈川、大阪、埼玉、愛知、千葉、北海道、兵庫、福岡の9都道府県で、全国の高齢者人口の増加数の6割を占めると言われ、一方ですでに医療需要のピークを過ぎたと言われる地域もあるそうです。今後、埼玉県東部地区は、日本の中でも最も急速な高齢者の増加に対して対策を立てて行かねばなりません。

最近の当地区での救急受け入れが難しい理由として、実は高齢者の救急患者さんが増えていることが挙げられます。残念ながら高齢者の方は御病気をきっかけとして、自立した生活が困難となられることが多く、回復に要する時間も若い方と比べれば長くなってしまいます。また御病気が治られても、独居や夫婦二人暮らしで公的な介護が必要となられる場合が多く、社会的セーフティネットが整うまで、病院を移ることすら困難なのです。このような理由で多くの高齢者の患者さんが急性期病床を徐々に占めてしまい、高齢の患者さんの受け入れには大変遺憾ながら、急性期病院は及び腰になっているのが現状です。

私はこの地区の最大の問題点は、いまだにこのような方たちを支援できる後方連携体制が整っていない点であると考えています。この地域の医療需要にはどのようなものが多いのかを分析してゆくことで、公立病院としての当院の目指す方向性を考え直さなければならない時期が来ているように思います。越谷市では小児と成人の夜間急患診療所を市立病院脇の保健所に設置、これにより市としては1次救急から3次救急までの体制が整い、今後は地域包括ケアシステムの構築が急務です。ここでも当院の果たす役割は大きいはずで

病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、愛され信頼される医療を行なうにあたり、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

- 私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。
- 私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。
- 私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術、豊かな感性で高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、夢と感動ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

目 次

第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	12
(4) 配置図等	14
(5) 病院機構図	16
(6) 施設の概要	18
(7) 主要医療機器等一覧	20

第2章 平成26年度業務

第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	23
(2) 財務に関すること	25
(3) 業務の委託	33
(4) 光熱水費の状況	34

第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	35
(2) 診療報酬に関すること	40
(3) 院内死亡数及び解剖数	41
(4) 臨床検査科業務	42
(5) 薬剤科業務	45
(6) 栄養科業務	49
(7) 放射線科業務	51
(8) 内視鏡室業務	58
(9) 中央手術室業務	59
(10) リハビリテーション科業務	60
(11) 臨床工学科業務	63
(12) 人間ドック集計	64
(13) 看護部業務	66
(14) 緩和ケア業務	70

第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	71
(2) 著書及び論文発表	82
(3) 研究発表	
1) 内 科 原発性胆汁性肝硬変 (PBC) に急速進行性糸球体腎炎 (pauci-immune 型・抗	

	GBM 抗体型) と特発性血小板減少症 (ITP) を発症した 1 症例 ……………	86
2) 消化器科	当院における内視鏡的大腸ステント留置症例の臨床学的検討……………	87
3) 小児科	尿閉・浮腫をきたした処女膜閉鎖症の 1 例……………	90
4) 外科	Laparoscopic Resection of Schwannoma of the Ascending Colon……	94
5) 整形外科	Case report: The operation for the lumbar disk herniation just after cesarean delivery in the third trimester of pregnancy……………	98
6) 脳神経外科	ガイドライン改変前後での特発性正常圧水頭症 (iNPH) 診療の変化についての検討……………	104
7) 産科・婦人科	子宮頸部細胞診で疑われ、免疫染色で診断された小細胞癌の 1 例……	109
8) 放射線科	MRI 最近の話題……………	113
9) リハビリテーション科	当院における急性期脳卒中リハビリテーション ー開始日、離床日とその遅延要因の検討ー……………	116
10) 臨床検査科	銀増幅高感度イムノクロマト法によるインフルエンザ診断法の使用経験 ー院内感染対策への応用を踏まえてー……………	118
11) 薬剤科	ランマークにおける低カルシウム血症に関連した情報提供に関する検証	121
12) 中央滅菌室・手術室担当	入室方法の違いによる患者心理を探る……………	127
13) 5-2病棟担当	せん妄発症予測アセスメントツールの作成と運用に向けて ～ドレーンチューブ類を予定外抜去した症例分析～……………	132
(4) 平成 26 年度ガス・メス納め集会より		
1) 麻酔科	麻酔科・中央手術室手術統計……………	135
2) 循環器科	循環器科年次報告……………	137
3) 外科	外科手術統計……………	138
4) 整形外科	整形外科手術統計……………	139
5) 脳神経外科	脳神経外科手術統計……………	141
6) 皮膚科	皮膚科手術統計……………	142
7) 泌尿器科	泌尿器科手術統計……………	143
8) 産科・婦人科	産科・婦人科手術・分娩統計……………	144
9) 眼科	眼科手術統計……………	146
10) 臨床検査科・病理診断科	病理・細胞診・解剖統計……………	147